

施策番号	111	施策名	地域医療の充実	令和4年度主管課名	健康推進課
総合計画体系	政策名	1	こころあたたかい福祉の里づくり	令和4年度課長名	石原 靖之
	関係課名	総合福祉課	国保病院	シート作成者	小椋 浩美

1. 施策の対象と意図の指標

① 施策の対象(誰、何が対象か)		③ 対象指標(対象の数・規模)		単位	区分	2年度	3年度	4年度	5年度	7年度	
ア	町民	→	ア	人口	人	見込値			11,800	11,627	11,280
						実績値	12,625	12,497	12,358		
イ		→	イ			見込値					
						実績値					
ウ		→	ウ			見込値					
						実績値					
② 施策の意図(対象をどうしたいのか)		④ 成果指標(意図の達成度)		単位	区分	2年度	3年度	4年度	5年度	7年度	
ア	必要な時に適切な医療が安心して受けられる	→	ア	町内の医療機関を利用している町民の割合	%	目標値	81	79	79.5	80	81
						実績値	80.2	81.6	82		
						達成率	99.0%	103.3%	103.1%	102.5%	101.2%
イ	早く手当、治療をしてもらう	→	イ	地域の医療環境が整っていると感じている町民の割合	%	目標値	70.0	66.0	66.5	67.0	68.0
						実績値	70.9	69.3	64.2		
						達成率	101.3%	105.0%	96.5%	95.8%	94.4%
ウ		→	ウ			目標値					
						実績値					
						達成率					
エ		→	エ			目標値					
						実績値					
						達成率					
⑤ 成果指標設定の考え方	早期発見・治療を行うため、第一次医療機関の町民の利用度と満足度を指標とした。			⑥ 成果指標の把握方法と算定式等	町民アンケート調査						

2. 施策の役割分担

	① 住民の役割 (自助・共助・協働でやるべきこと)	② 行政の役割 (町・都道府県・国がやるべきこと)
施策成果向上に向けた住民と行政との役割分担	<ul style="list-style-type: none"> 町内にかかりつけ医を確保するよう努める 救急・応急手当の対処法、AEDの使用法について理解を深めるとともに保管場所の確認に努める 	<ul style="list-style-type: none"> 鏡野町国民健康保険病院の充実と経営改革を実施する。あわせて、へき地診療所の維持に努める 国・県に対して、救急搬送体制、医師の確保、へき地医療体制の充実について、支援を求める

3. 評価結果

1. 施策の成果水準とその背景・要因	
4年度の評価結果	<p>① 施策の目標達成度(目標値を達成したか、未達成か?その要因は?)</p> <p>町内の医療機関を利用している町民の割合は徐々に増えているが、地域の医療環境が整っていると感じている町民の割合は年々減少傾向にある。</p> <p><input type="checkbox"/> 目標値を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標値どおり <input type="checkbox"/> 目標値を下回る</p>
	<p>② 成果指標の時系列比較(成果は向上したか?低下したか?要因は?)</p> <p>町内の医療機関を受診する町民の割合が増えたにもかかわらず、地域の医療環境が整っていると感じる町民の割合が減っていることから、成果はほとんど変わらない。診療日数の少なさが原因と思われる。</p> <p><input type="checkbox"/> 向上した <input type="checkbox"/> ほとんど変わらない <input checked="" type="checkbox"/> 低下した</p>
	<p>③ 他団体との比較(近隣市町、県・国の平均と比べて成果水準は高いのか、低いのか、その背景・要因は?)</p> <p>・町内の医療機関は病院2、診療所8、歯科診療所6と近隣の町の中ではやや多い。 美咲町…病院1、一般診療所4、歯科診療所5 久米南町…病院0、一般診療所2、歯科診療所2 津山市…病院9、一般診療所74、歯科診療所45</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 高い水準 <input type="checkbox"/> ほぼ同水準 <input type="checkbox"/> 低い水準</p>
<p>2. 施策を取り巻く環境変化(対象の変化、国県の動向、法改正等)と住民からの意見・要望など</p> <p>診療日数の増加や、診療科の増設等多くの要望がある。できるだけ要望に答えたいところだが、2024年開始予定の医師等の働き方改革により、医師の時間外労働や連続勤務時間制限が設けられ、大学病院等の大規模病院からの医師派遣が難しくなると予想される。結果的に医師不足による診療科の縮小や、診療日数の減少に繋がると考えられる。</p>	
<p>3. 施策の振り返りと総括(4年度の事務事業や取組の成果は?うまくいかなかった取組・問題点と原因は?)</p> <p>① 施策の成果向上につながった主な事務事業 奥津直診、奥津歯科、上齋原直診、上齋原歯科、富直診、富歯科</p> <p>② 施策の成果向上のため改善を要する主な事務事業 苫田郡医師会補助金</p> <p>③ 施策全体の振り返りと総括</p> <p>重複受診者に対する適正化受診の啓発や、後発医薬品の推進を一層行う必要がある。診療所の診療時間数については、派遣医師の確保により、前年度と同等となった。看護師不足の対策として、看護師、事務員を国保病院の所属とし、令和4年度から診療所に派遣してもらった。3年度導入した奥津、上齋原、富の3内科診療所に続き、3歯科診療所でもマイナンバーカードによる健康保険証の利用ができるよう整備した。</p>	
<p>4. 施策の今後の課題と改革改善の方向(今後、新たに取り組むべきこと、さらに力をいれる必要があることは?)</p> <p>① 今後施策の成果向上につなげる主な事務事業 岡山県へき地医療拠点病院運営事業費</p> <p>② 施策全体の今後の課題と改革改善の方向</p> <p>今後、町内医療機関の医師の高齢化と医師の働き方改革による医師不足が予想される。休日当番医の運用について、診療日の削減や広域化の検討が必要となる。へき地医療に関しては、オンラインやICTを活用した診療も必要になると考えられる。今後の設備更新もICT等の活用を想定していく必要がある。</p>	